



実習生が買い物で足を運ぶ JR 小山駅東口のクリスマスイルミネーション。

12月に入りました。長引く暑さが収まり、秋の気配を感じたのも束の間、気が付けば朝夕を中心に冬の寒さがやってきました。この時期心配になってくるのが、インフルエンザや新型コロナウイルス等の感染症。これまで大きく体調を崩す実習生は出ておらず、教室からはいつもと変わらぬ元気で明るい声が聞こえてきています。

それでも、実習生の皆さんの新環境への順応からくる心的ストレスや、初めて経験する日本の寒さを考えると油断は禁物。今月から入寮オリエンテーションや授業では、規則正しい生活習慣の定着に加え、外出後の手洗いの習慣化や特に人混みの中でのマスク着用の呼びかけが始まりました。

## あじけんスコープ Vol.137 地域活動参加への取組み ～防犯・防火運動参加～

今月は去る12月5日(木)小山市主催で実施された年末年始の防犯・防火パトロールに、当校実習生が参加した様子をレポートします。この活動は毎年12月に行われており、今年は地域に住んでいる外国人への参加の呼びかけを受け、フィリピン人実習生のPELO CARL JOAQUIN IBAJO(カール)さんとCASTANETO JOSHUA VILLAFLORES(ジョシュア)が当校代表として参加してくれました。

当日は18:00から約1時間、小山市市長以下市役所職員・小山警察署員・小山消防署員と、ボランティアの地域住民がJR小山駅周辺を徒歩で回り、防犯・防火を呼びかけました。夜間、また寒い中での活動となりましたが、2人とも地域在住外国人代表として、とても熱心に活動に取り組んでくれました。



通訳と共に 出陣式に参加するカール(前)さんとジョシュア(後)さん



他の参加者と JR 小山駅前を巡回する2人

さいしょはとてもきんちょうしました。でも、みなさんのあんぜんのため、えきまえをあるいてとてもよかったです。(カール)

にほんじんといっしょにかつどうしてたのしかったです。おやましのしようにもあえて、うれしかったです。(ジョシュア)

## 今月の実習生

今月の実習生は修了テスト(筆記)で見事100点満点を取ったミャンマーからの実習生MYINT MYINT THAN(ミイン)さんを紹介합니다。ミインさんは来日前、僅か6ヶ月間の学習期間でJLPT(日本語能力試験)N3を取得した大変な努力家です。当校での講習にも熱心に取組み素晴らしい成績を残しました。

とても真面目な性格のミインさん。これからも将来の夢に向かって努力を続けていってください。

はじめまして。私はミインタンです。ミャンマーから来ました。日本のホテルで実習します。今回修了テストで100点満点取れたので、どうしても信じられません。とてもうれしかったです。私の将来の夢は、いつか母国で日本語の学校を開いて教えることが上手な日本語の先生になることです。また、ホテルサービスの実習を選びました。なぜならホテルには様々なお客様が来ますので、お客様とおたがいに日本語で話すことで、日本語がもっと上手になると思っているからです。これから日本で3年間、いっしょにがんばって実習します。



# あじけん流日本語授業

## ～テキスト「感じがいい日本語」を使った授業～

今月のあじけん流日本語授業は、テキスト「感じがいい日本語」を使った日本語指導をご紹介します。今回は、Unit 1「自分のことを話してみよう」を扱った授業です。自己紹介を中心に学習しました。テキストでは、丁寧な自己紹介の仕方のほか、どんな話題を選ぶか、そのときどんな文型をつかったらいいかなどが書かれています。ほとんどの実習生が自己紹介を母国でしっかりと練習してきますので、初めて聞いたときは、「上手にできているな」と感じます。しかしながら、自己紹介で話した内容について質問をすると答えられなかったりします。つまり、「暗記」をしているだけであって、意味を理解しながら話しているわけではないということです。ですので、毎日顔を合わせているクラスメートに「初めまして」と言ったり、最後に「3年間お世話になります」と言ったりします。その場に合わせた、適切な自己紹介というのは意外と難しいようです。



「感じがいい日本語」  
テキスト

今回の授業では、テキストの内容を参考に、提出されている文型を使って、どこでの自己紹介か、どんな話題を選ぶかなどを考え、実際に自己紹介の練習をしました。まず、実習先での自己紹介です。「会社名」や「仕事内容」、「会社の所在地」などを話す実習生がいたため（写真①）、実習初日はどんな自己紹介がいいかみんなで考えました（写真②）。次に、地域の日本語教室に行ったとき、どんな自己紹介がいいか、クラスで一緒に考え（写真③）、練習しました（写真④）。ここでは、趣味などの話以外にも、「会社名」「仕事内容」「家族」なども話してもいいのではないかと意見が出ました。

相手や場所に合わせて日本語で話をすることは実習生にとって簡単なことではありません。ただ、練習をすることができるようになる事であれば、当校でたくさんの練習を行いたいと考えています。実習生に「自己紹介」といっても一つのパターンだけではなく、その場その場に合わせて、話す事柄を選んで自己紹介をするということがわかってもらえたかと思います。

これからも、実習生が実習先や地域で「感じがいいな」と思ってもらえるよう、相手や場所を意識した日本語指導を続けていきたいと思っています。



わたしのかいしゃは●●です。  
しごとは ようせつです。

### 会社での自己紹介



かいしゃの なまえは いらないます。  
しごと も いらないます。

写真 2 : 気づいたことを発表



えっと～、わたしの しゅみは サッカーで  
す。え～、なにを はなしますか？（笑）

### 地域日本語教室での自己紹介



わたしのしゅみは サッカーです。  
ちいさいころから サッカーをしています。

写真 4 : ペアで練習してみます

写真 3 : いつもと違った自己紹介に困っています

※ 当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧いただけます。